

Business Report

第100期 中間株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで


大同特殊鋼株式会社

証券コード 5471

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

ここに、第100期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における事業概況についてご報告申し上げます。

2023年12月



代表取締役社長

清水哲也

決算概況

当中間期の連結営業利益は190億3百万円となり、前年同期比42億21百万円の減益となりました。特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、半導体を中心とした部品の供給不足の緩和などにより増加したものの、産業機械関連の需要は弱含んで推移しました。半導体関連は、シリコンサイクルの下降局面において受注が減少しました。なお、自由鍛造品については、エネルギー関連、航空機関連で需要が増加し、受注は引き続き高位で推移しました。また、鉄スクラップ価格や原油・LNG市況は引き続き高位で推移しました。これらのコスト増大に対し、適正マージン確保のため、徹底したコスト削減および販売価格への反映に継続して取り組んだものの、利益面においては、ステンレス鋼などサプライチェーンにおける在庫調整にともなう売上数量減少もあり前年同期比減益となりました。

経営環境および今後の取り組み

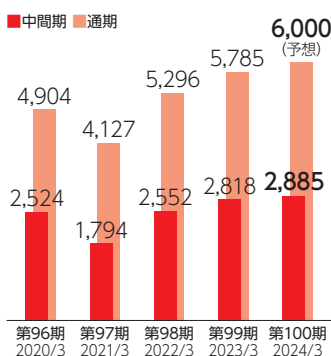
2023年度の経営環境につきまして、当社の主要需要先である自動車関連の需要は、部品の供給不足が緩和されてきたことを受け、緩やかに回復していくと想定しております。一方で、産業機械関連については、外需減少による影響を注視していく必要があります。また、急激な為替変動や原燃料および資材価格の高騰などによるリスクが想定されますが、引き続き徹底したコスト削減努力を継続するとともに、適正マージンの確保に努めてまいります。

なお、当社では、本年12月31日を基準日として、2024年1月1日付けで当社普通株式1株を5株に分割させていただくこととしました。詳細につきましては、来年2月上旬に株主の皆様にご連絡いたします。この株式分割に関し、株主の皆様のお手続きは必要ございません。

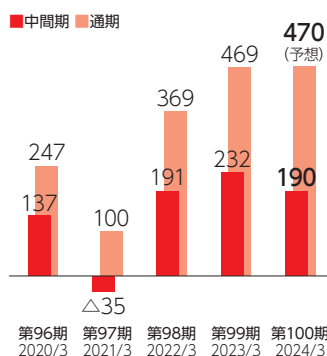
当中間期の配当

当中間期の配当は、中間決算および通期業績見通しを勘案し、1株あたり100円とさせていただきます。

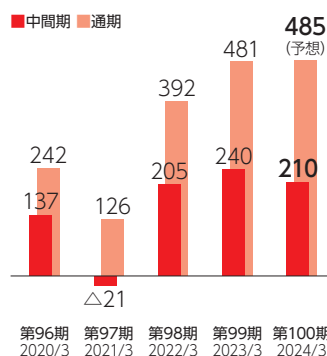
売上高 (億円)



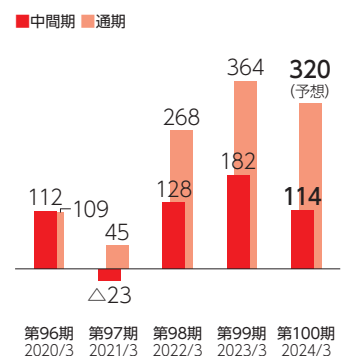
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



事業別の概況

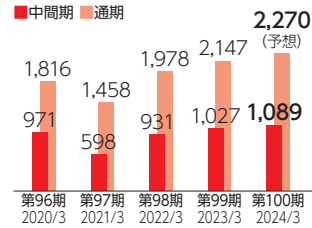
特殊鋼鋼材



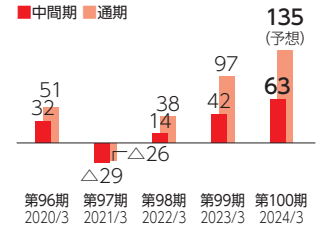
構造用鋼、軸受鋼、金型用の工具鋼など、主に自動車、産業機械分野で使用される屈強な素材の製造・販売をはじめ、原料、資材の調達、物流管理、流通に至るまで幅広い事業を展開しています。

売上高構成比
37.7%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



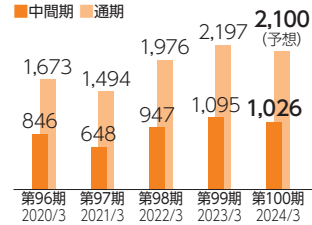
機能材料・磁性材料



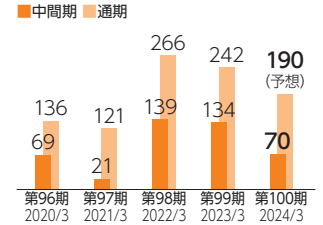
ステンレス鋼、高合金、合金粉末、チタン、磁石製品、ターゲット材、ネジ・ボルトなど優れた機能を発揮する材料の開発、製造、販売を手がけています。

売上高構成比
35.6%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



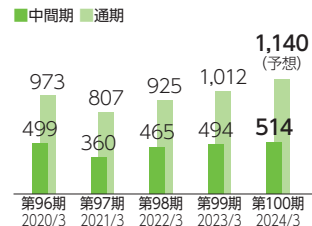
自動車部品・産業機械部品



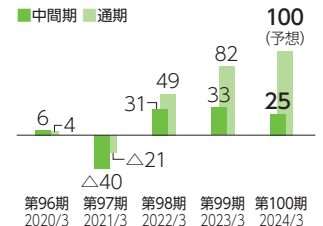
自動車部品・ベアリング向けの型鍛造品、エンジンバルブやターボ関連製品を主力とする精密鍛造品、発電機、大型輸送機、プラント向けの自由鍛造品、鍛鋼品を製造・販売しています。

売上高構成比
17.8%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



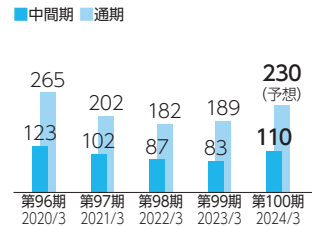
エンジニアリング



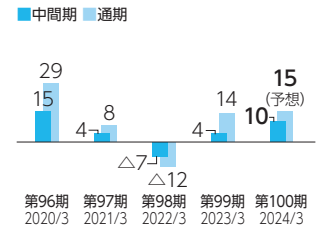
特殊鋼製造で培ったノウハウと技術を活かし、鉄鋼設備、工業炉、環境設備、各種機械の設計から施工、メンテナンスまで行っています。

売上高構成比
3.8%

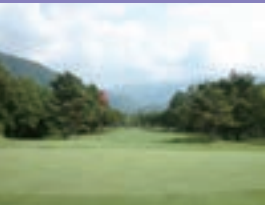
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



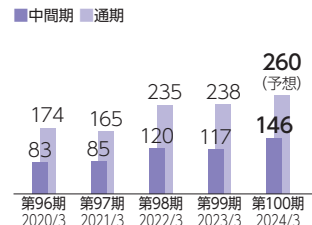
流通・サービス



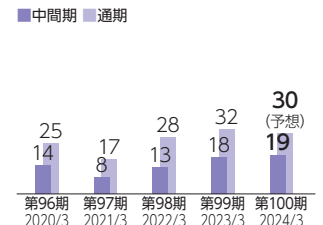
不動産事業、福利厚生、保険の取扱い、ゴルフ場経営、鉄鋼・セラミックス等の分析、情報システムの販売など多岐にわたる事業を展開しています。

売上高構成比
5.1%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



トピックス



ベトナムにおける海外事業の拡大 工具鋼の加工・在庫能力強化／特殊鋼販売会社を設立

当社の連結子会社である DAIDO DMS VIETNAM CO.,LTD.(以下DMSV)は、2023年5月に新工場を稼働しました。DMSVは当社と当社の連結子会社である大同DMソリューション株式会社の両社で2008年に設立した金型用鋼の加工販売拠点です。新工場は、旧工場の約3倍の面積で在庫保管能力を強化したほか、従来の機械加工ラインに加えて熱処理および表面処理ラインを導入し、製造プロセスを拡張しました。

また、当社の連結子会社である大同興業株式会社は、Daido Kogyo Vietnam Co., Ltd.を設立し、2023年10月より営業を開始しました。

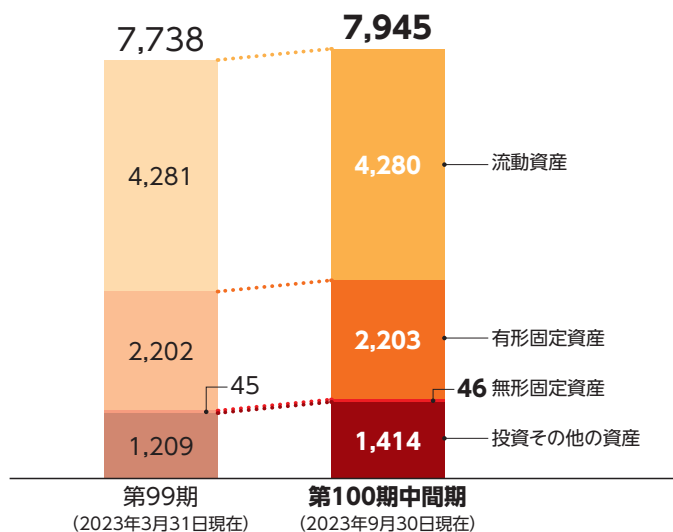
大同特殊鋼グループは2023中期経営計画の指針のひとつとして海外展開拡大を掲げており、中国、インド、アセアンを中心としたアジア市場での販売力強化に取り組んでいます。今後も、拡大が見込まれる市場の需要を捕捉し、アジアの成長市場における一層の販売体制強化を図ります。



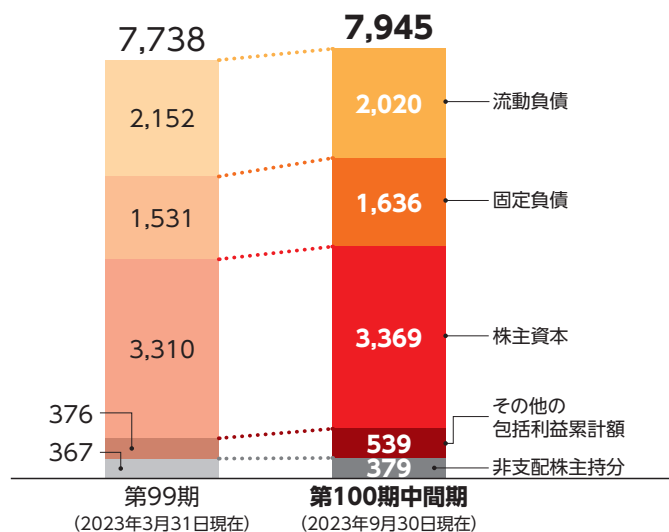
DAIDO DMS VIETNAM新工場の外観

財務の状況

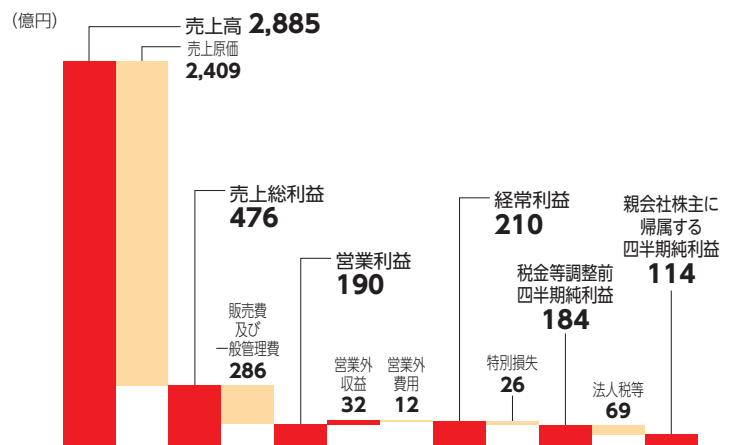
資産の部 (億円)



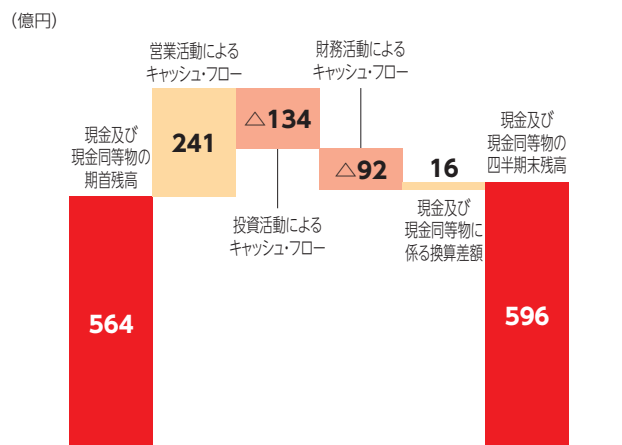
負債・純資産の部 (億円)



損益の状況 2023年4月1日～2023年9月30日



キャッシュ・フローの状況 2023年4月1日～2023年9月30日



※金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。



佐川顧問がエリザベス女王工学賞を受賞

当社顧問の佐川真人が2022年2月に受賞した、工学分野で国際的に優れた技術者を表彰するエリザベス女王工学賞の授賞式が、2023年10月12日にイギリス・ロンドンのバッキンガム宮殿で執り行われました。授賞式では、佐川と2023年度の受賞者に、チャールズ国王陛下よりトロフィーが贈られました。このほかにも佐川は、公益財団法人 本田財団が主催する本田賞を、アメリカのジョン・J・クロー博士と受賞することが決定しています。

佐川が発明したネオジム磁石は高出力・高効率求められる電気自動車や風力発電機などのモーター、小型・軽量で強力な磁石が必要とされるロボットや自動化システム、家電などさまざまな分野において製品の高性能化に貢献しています。



チャールズ英国王(左)にたたえられる佐川顧問
写真: Jason Alden

会社概要

社名	大同特殊鋼株式会社
英文社名	Daido Steel Co., Ltd.
本社所在地	〒461-8581 名古屋市東区東桜一丁目1番10号 アーバンネット名古屋ビル
創業	1916年8月19日
設立	1950年2月1日
資本金	371億7,246万4,289円

取締役

代表取締役会長	石 黒 武
代表取締役社長	清 水 哲 也
代表取締役副社長	西 村 司
代表取締役副社長	山 下 敏 明
取締役	梶 田 聡 仁
取締役	岩 田 龍 司
取締役	鹿 嶋 忠 幸
取締役 (社外/独立役員)	平 光 範 一
取締役 (社外/独立役員)	山 本 良 一
取締役 (社外/独立役員)	神 保 睦 子
取締役常勤監査等委員	志 村 進
取締役常勤監査等委員 (社外/独立役員)	水 谷 清 治
取締役監査等委員 (社外/独立役員)	松 尾 憲 治

株式の状況

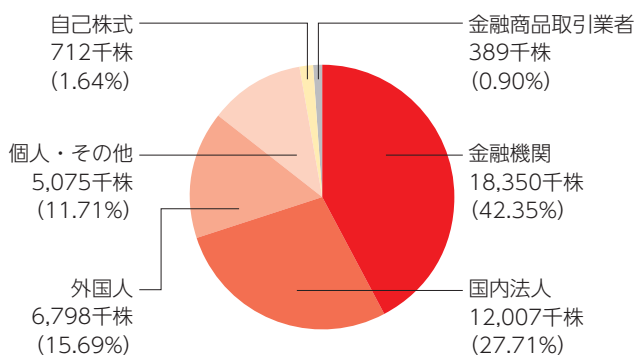
発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	43,448,769株 (自己株式 712,086株を含む。)
株主数	18,924名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,218	9.87
日本製鉄株式会社	3,100	7.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,079	7.20
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.85
株式会社みずほ銀行	1,577	3.69
日本発條株式会社	1,449	3.39
本田技研工業株式会社	1,305	3.05
株式会社三菱UFJ銀行	1,214	2.84
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
日鉄興和不動産株式会社	749	1.75

※自己株式は除いております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.daido.co.jp/koukoku.html
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



Webサイトのご案内

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。

<https://www.daido.co.jp/>